



11月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園

2024年11月1日

保育目標 領解 ところがけます

- ・約束やルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。
- ・秋の自然物を使って、工夫したり、考えたりしながら作ってみる。

今月の行事予定

- 1日 未満児おさんぽ参観日 以上児焼き芋
5・18日 礼拝 4日 佐山ふるさとまつり出展
5日 奉仕作業 7日 5歳児さんまクッキング
8日 3・4歳児秋えんそく（手作り弁当／雨天15日）
発育測定（13日ぞうきりん 14日うさぎりす 15日あひるひよ

- こ）14日 内科検診 20日 保育園説明会
20日クッキー作り 21日 誕生会 25日 避難訓練
27日 集金引落 29日 5歳児シルエット劇場



【法話】

よい心

夏の暑さがウソのように、涼しさ、肌寒さを感じるようになりました。地域の方のお陰で、今年もたくさんのさつまいもを掘らせていただき、おやつにはみんなで焼きいもを味わう経験もさせていただきました。有り難いことでした。季節の変わり目、体調の変化に留意しながら、実りの秋に、一回り大きく成長できる体験を重ねていきたいと思っています。

10月の園だよりでは、私たち人間の心は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの迷いの心が、次から次へとわきおこってくることを書きました。この六つの悪い心は、死ぬまで決して私の心から、なくなることはありません。でも、仏さまの教えを一生懸命に聞くと、仏さまのよい心が、私の悪い心をつつんでくださいます。仏さまのよい心とは、

しょうもん
声聞の心（正しい教えを一生懸命に聞く心）

えんがく
縁覚の心（正しい道理をわきまえて反省する心）

ぼさつ
菩薩の心（みんなのことを考える心）

ぶつ
仏の心（私たちすべてのものを救わずにはおかないと誓われた阿弥陀さまのような心）の四つです。

仏さまのよい心をいただいて、私の悪い心がそれにつつまれていても、縁にふれれば、やっぱり悪い心がニョキッと顔を出してしまいます。仏さまのよい心につつまれてありがたい、そして悪い心に、お恥ずかしい、ごめんなさい、の

かんしゃ さんぎ
「感謝」と「慚愧」の生活をさせていただきたいものです。

合掌



【みんな違って みんないい】

佐山地区人権学習里づくり集会において、さやま保育園の3, 4, 5歳児全員が、佐山小学校の体育館の舞台上上がり、ちひろさんと一緒に「私と小鳥と鈴と」を手話を交えて歌わせていただきました。当日は、小学生、保護者の方、地域の方で体育館は満席でした。リハーサルで2回、本番で1回ちひろさんといっしょに歌いましたが、この歌の歌詞と、ちひろさんの歌声と子ども達の歌声のハーモニーと、体育館の中の方々の温かい見守りと、なんとも言えない素敵な雰囲気生まれました。

歌い終わった後、「ちひろさん綺麗だったね、私たちも綺麗だった？」と言ってきた子がいました。その通り、「みんな一人ひとりがそれぞれ、とっても綺麗でした。優しさがあふれていました。」優しさの時間と空間の中に、どっぷり漬かったような、そんな経験をさせていただきました。地域の方や保護者の方から、「ちひろさんの歌声と子ども達の歌声がとっても素敵で、涙が止まりませんでした。」「みんな違ってみんないいの心が、子ども達のきらきらした瞳から聞こえてきました。」という言葉いただきました。

次の日子ども達から、「今日はちひろさんと歌わないの？」という声が聞こえてきました。また、ドッチビーが屋根に上がってしまった子は、「僕に翼があったら飛んで取りに行けるけど、僕には頭があるから考えてみよう。」と。子ども達の心の中に、見えないけれども何かが芽生えているようです。

さやま保育園では、以上児を異年齢保育にしています。普段の生活の中でも、常に目の前に違いが見えてきます。その違いを当たり前と捉え、みんなが違う心を持っていることも知ることができます。そして、違うからこそ素晴らしい、違うことが素敵であると感ずることができる日常を、子ども達は過ごしています。